

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2021年10月) —失業率は6か月連続で低下、7.3%に

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

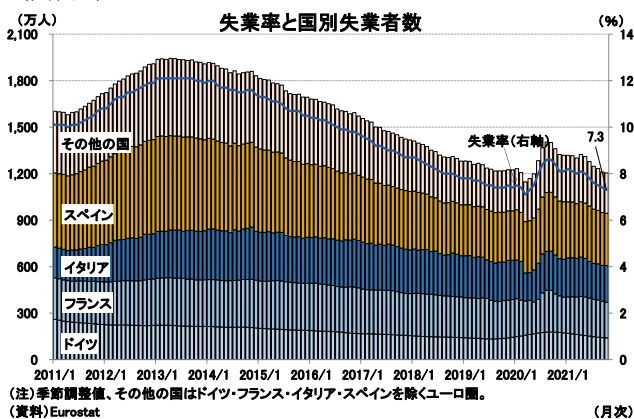
1. 結果の概要:失業率は7.3%まで低下

12月2日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

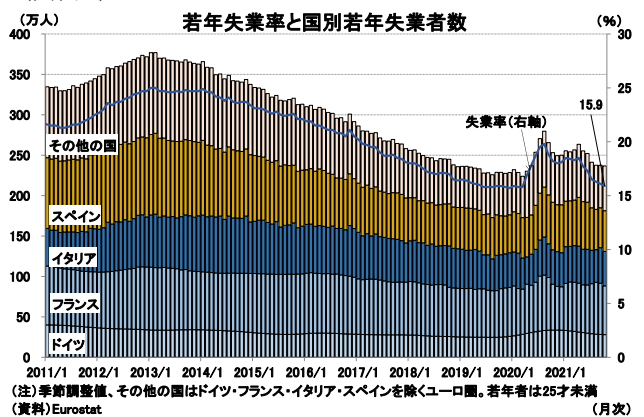
【ユーロ圏19か国失業率(2021年10月、季節調整値)】

- ・失業率は7.3%、市場予想¹(7.3%)と同じで、前月(7.4%)から改善した(図表1)
- ・失業者は1204.5万人となり、前月(1210.9万人)から5.4万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:全体としては改善傾向が続く

ユーロ圏の10月の失業率は7.3%と前月の7.4%から低下した。また、前月までの改定値もほぼ変更がなく、ほぼコロナ禍前の水準まで回復している。

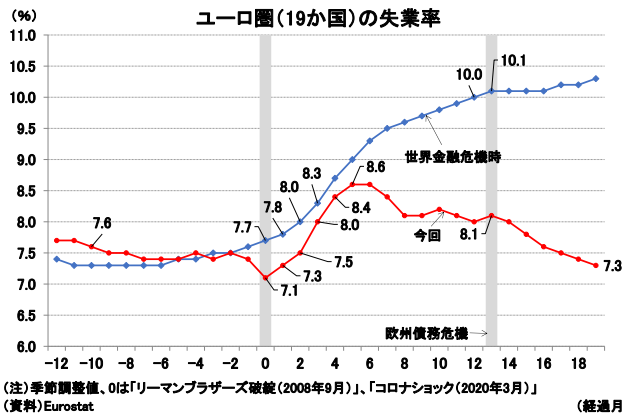
失業者数は10月の前月差で5.4万人減(9月改定値:▲22.3万人)となり、減少幅は縮小したものの減少は続いている。4月以降の減少数(5-10月累計)は119.8万人となった。失業者数は、2020年2月(1206.9万人)を下回り、直近で最も失業者が少なかった20年3月(1147.4万人、失業率は7.1%)まであと57.1万人という水準となった(図表1・4)。

若年失業率も10月には15.9%と前月(16.1%)から改善した(若年失業率の改定値は9月(改定前16.0→改定後16.1%)がやや悪化方向に改定されている)。若年失業者数は10月には236.7

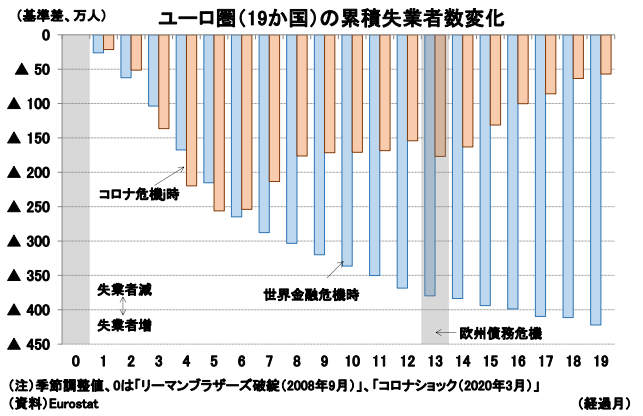
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

万人となり、直近の最低値である20年3月（224.0万人）まであと12.7万人に迫っている（図表2）。ただし、若年失業者数も9月の改定値は悪化方向に改定（230.7万→237.6万人）されている。

（図表3）

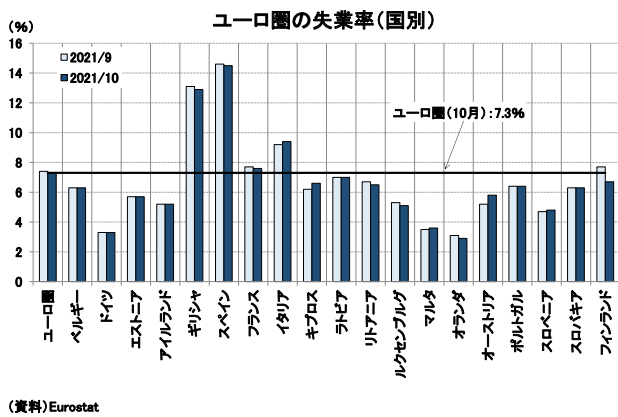


（図表4）

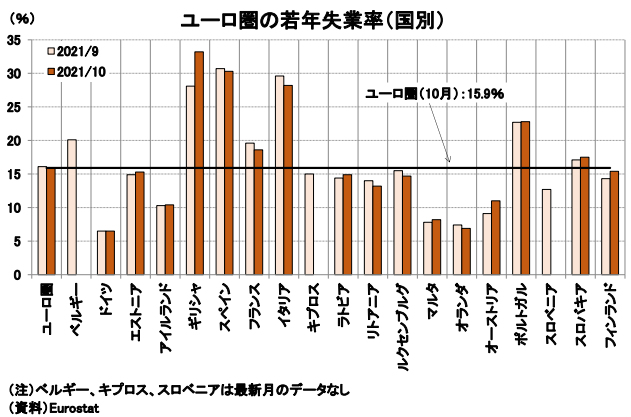


国別の9月のデータを見ると、失業率は19か国中、悪化した国が5か国、改善が7か国、横ばいが7か国、若年失業率は公表されている16か国中、悪化が9か国、改善が6か国、横ばいが1か国となり（図表5・6）、国によって状況にばらつきが見られた。

（図表5）

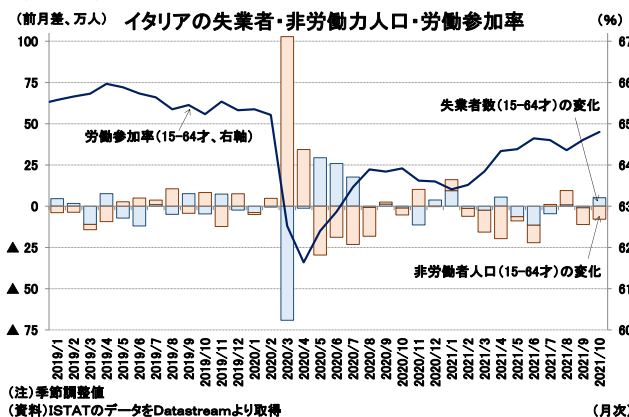


（図表6）

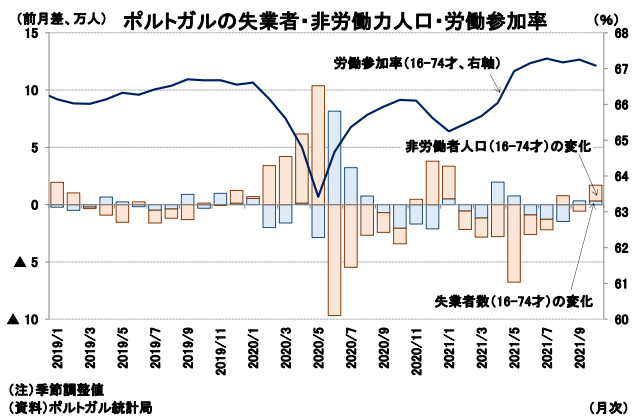


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアでは10月は非労働力人口が減少する一方で就業者と失業者が増加、他方、ポルトガルでは就業者が減少し失業者と非労働力人口が増加した（図表7・8）。ポルトガルでは労働参加率がコロナ禍前の水準を上回っており、広義失業者（未活用労働、labour underutilisation）比率も9月の最低水準（11.7%）をさらに更新する（11.5%）など、労働需給のひっ迫感がうかがえる。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。